

SAITAMA CITY HOSPITAL

さいたま市立病院



市長挨拶

さいたま市立病院は、昭和28年9月に浦和市立伝染病院として開設以来、平成元年11月には総合病院として運用を開始し、平成13年5月にさいたま市立病院と名称変更を行い、60年以上にわたり地域の基幹病院として運営してまいりました。

その間、平成3年4月には、厚生省地域医療連携推進モデル事業として地元医師会のご協力をいただきながらの病診連携の開始や、平成13年10月の地域周産期母子医療センターの併設、平成19年1月には地域がん診療連携拠点病院の指定を受け、平成29年10月には地域医療支援病院として承認されました。また、救命救急センターとして救急医療の対応などを行い、地域の医療機関と密接な連携を保ちながら、市民の皆様の病院として、安心・安全の確保に努めてきたところです。新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大に際しましても、感染外来の体制強化を行いました。

令和5年5月にさいたま市立病院東館を開設し、運動・スポーツ領域に特化した診療を開始しました。既存の診療科の枠を超えて運動・スポーツ領域において医療活動を行い、より高いレベルの医療を提供することにより、スポーツ傷害の予防・治療、競技力の向上、「スポーツのまち さいたま」の市民の健康増進を図るものでございます。

今後も、さいたま市立病院は、政令指定都市さいたま市が運営する唯一の市立病院として、さらに市民の皆様から信頼される病院を目指し、皆様の健康保持に必要な質の高い医療を提供すべく努力し続けてまいります。皆様方におかれましては、なお一層のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



市長 清水 勇人

PHILOSOPHY

理 念

患者さんを尊重し、信頼される病院を目指す。

科学的根拠に基づいた質の高い医療を提供する。

地域の基幹病院として各医療機関との連携に努める。

POLICY

基本方針

- 患者さんの権利を尊重した医療を提供する。
- 急性期医療を中心に高度な医療を提供する。
- 救急、周産期母子、がん医療を積極的に推進する。
- 地域の病診連携を積極的に推進する。
- 高い技術と豊かな人間性をもつ医療人の育成に努める。
- 自治体病院として経営の健全化に努める。

院長挨拶

さいたま市立病院は、令和元年12月29日に地上9階、病床数は637床の病院新棟が完成し、病院機能がさらに充実しました。手術室は12室となり、ハイブリッド手術室、2室の血管造影室も増設し、ロボット手術を導入いたしました。高精度放射線治療装置を導入し、20床の外来化学療法室が造設され最先端のがん治療を行っております。また令和2年12月には救急救命センターが開設され、年間約9,000台の救急車を受け入れており、令和4年6月からはドクターカーの運用を開始するなど救急医療が飛躍的に充実しました。さらに、生育母子医療センターとして周産期から小児期まで一貫した医療サービスを提供できる医療体制が整い、精神科身体合併症病棟を新設し、感染症専門の外来や病棟なども整備されました。加えて、令和5年5月には、運動・スポーツ領域に特化したスポーツ医学総合センターを開設し、スポーツ外傷の診療とともに、さいたま市民の健康増進にも力を注いでいます。令和6年11月には感染症流行により閉鎖しておりました緩和ケア病棟も再開しております。



院長 朝見 淳規

新型コロナウイルス感染症のパンデミックに際しては、新病院の機能を十分に発揮し、全職員一丸となって多くの患者様を受け入れさせていただくことができました。パンデミックも収束し、いよいよ新病院の本来の実力を発揮する時期がやってきました。物価、人件費高騰などで医療を取り巻く環境は非常に厳しくなっていますが、当院は市民の皆様信頼される病院として、より良い医療を提供できるよう職員一同、今まで以上に努力して参りますのでよろしくお願い申し上げます。

HISTORY

沿革

昭和28年	9月 1日	浦和市立伝染病院 診療開始
昭和28年	11月14日	浦和市立結核療養所開設
昭和43年	10月21日	浦和市立結核療養所を浦和市立北宿病院に名称を変更
昭和47年	7月 1日	浦和市立北宿病院を浦和市立病院に名称を変更
平成元年	11月 1日	総合病院として運用開始
平成3年	4月 1日	開放床開設、病診連携室設置 (厚生省地域医療連携推進モデル事業)
平成4年	4月 1日	臨床研修指定病院に認定
平成11年	4月 1日	第二種感染症指定医療機関の指定
平成11年	11月16日	県内公立病院初のトリアージ訓練を実施
平成13年	5月 1日	さいたま市立病院に名称変更
平成13年	11月 1日	地域周産期母子医療センターの認定
平成15年	11月30日	さいたま市立病院開設50周年記念式典挙行
平成19年	1月31日	地域がん診療連携拠点病院の指定
平成19年	2月 8日	災害拠点病院の認定
平成25年	6月20日	平成25年度自治体立優良病院両協議会会長表彰受賞
平成26年	6月19日	平成26年度自治体立優良病院総務大臣表彰受賞
平成29年	10月25日	地域医療支援病院の名称使用の承認
令和元年	12月29日	さいたま市立病院新病院（本館・別館）開院
令和2年	12月 1日	救命救急センターの指定
令和4年	6月 1日	ドクターカー運用開始
令和5年	1月31日	東館 竣工

重症救急患者の受入体制拡充、 さいたま市救急医療体制のさらなる充実

令和2年12月1日に、埼玉県内9か所目となる救命救急センターを開設しました。

重症・重篤な救急搬送傷病者に対応する初療室と、救急病床20床（ICU6床・HCU14床）、後方病床7床の運用を行っています。



救急外来受付



ドクターカー

急性期医療機能の強化、 地域がん診療連携拠点病院としての整備

当院は、地域がん診療連携拠点病院として指定されており、専門的ながん医療の提供、がん診療の地域連携協力体制の構築、がん患者・家族に対する相談支援及び情報提供等を行っています。



手術室

臨床工学部門と透析部門、手術部門、ICU、HCU がワンフロアに集約されているため、高度集中治療機能が連携し、迅速・確実な滅菌機材搬送、効率的な医療機器管理をすることができます。



ダビンチ

内視鏡下手術を支援するロボットです。患者さんの負担が少ない内視鏡下手術の特徴と人間以上に繊細なロボットの動きを併せ持っています。



リニアック

「Linear accelerator リニアック」は、日本語では「直線加速器」といわれ、主ながんの治療に使われる放射線治療機器です。



サイバーナイフ

X線を使った放射線治療機器の一種で、腫瘍にピンポイントで照射することに特化した装置です。



緩和ケア病棟

苦痛緩和のための緩和ケア病棟 (20床) を有しています。



がんサロン

がん患者さんやご家族の相談室やがんサロンを有しています。

24時間体制でハイリスク妊婦から、胎児異常、新生児、母体救急まで一貫した高度な周産期医療の提供

当院の地域周産期母子医療センターでは、妊娠中から入院を必要とするハイリスク妊婦、早産等で生まれた新生児を管理するための高度な医療設備を整備しています。また、地域の医療機関と連携しながら、母体搬送や新生児搬送の受け入れを行い、妊産婦から新生児へと一貫した成育母子医療センターとしての高度な医療を提供しています。



周産期センター外来



陣痛室

地域周産期母子医療センター（産科病棟（分娩室・陣痛室・周産期手術室）、NICU、GCU、外来等）と小児病棟がワンフロアに集約されています。



LDR 室

陣痛室・分娩室・回復室が一体となった個室です。



新生児室



NICU（新生児集中治療室）



小児病棟

利便性を考慮した機能整備・療養環境の向上

- 感染外来・感染専用エレベーター

※感染外来と感染・結核病棟と直結した専用エレベーターを設置し、一般患者とは隔離し、感染症への対応を強化しました。

- 陰圧個室の増室

※陰圧個室とは室内を陰圧にすることにより隔離し、病原菌を封じ込めて、他へ汚染が広まるのを防止します。

- 免震構造の採用

- 非常用発電機の容量拡張

- 変電所からの電気引き込みを2系統に変更

- 地下水による飲料及び生活用水の確保

- アメニティやプライバシーに配慮した施設整備

- ユニバーサルデザインによる施設整備

- 業務の効率化を図る搬送システムの導入
(トレイライナー)



感染外来受付



病室（特別室）6階



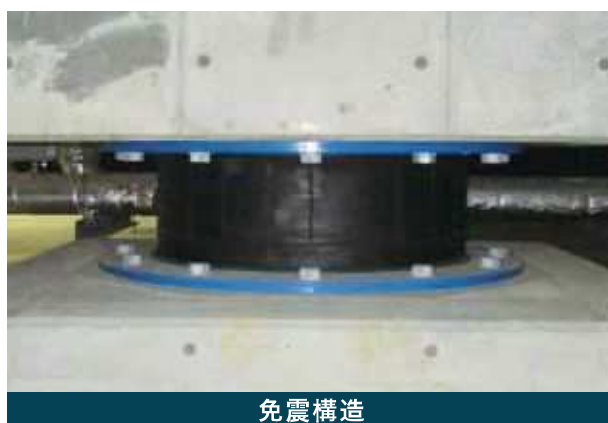
病棟スタッフステーション／6・7・8階



病室（4人部屋）／6・7・8階



搬送システム



免震構造

市民から信頼され、 安心して暮らせるさいたま市のシンボル

敷地面積	56,403.07㎡		
建築面積	15,883.20㎡		
階数	病院本館 地上10階 別館 地上3階	東館	地上3階
標榜診療科	内科・消化器内科・呼吸器内科・精神科・脳神経内科・循環器内科・小児科・新生児内科・外科・消化器外科・血管外科・呼吸器外科・整形外科・リハビリテーション科・脳神経外科・心臓血管外科・小児外科・皮膚科・形成外科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・歯科口腔外科・放射線診断科・放射線治療科・麻酔科・救急科・病理診断科・緩和ケア内科		
許可病床数	637床		



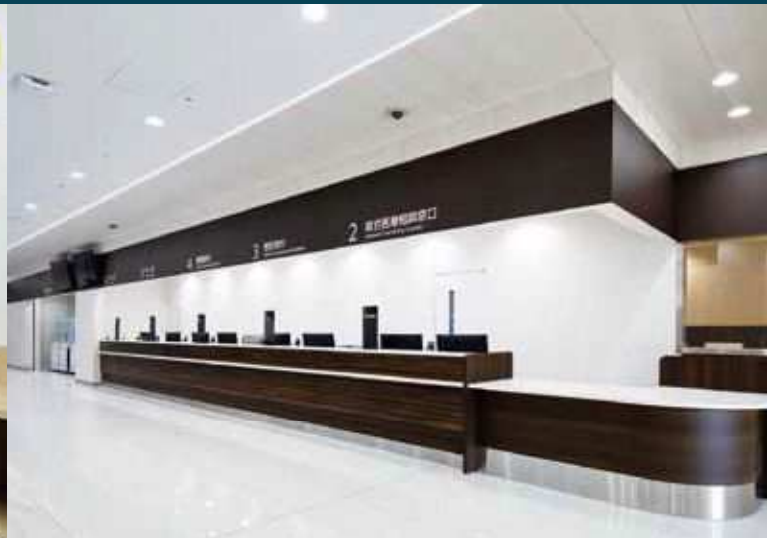
エントランス (1階)



患者支援センター (1階)



キッズルーム (1階)



外来受付 (1階)

フロアマップ

	病院本館	別館	東館
10 F	機械室		
9 F	一般病棟 (緩和)、機械室、レストラン、屋上庭園		
8 F	精神科身体合併症病棟、感染症病棟、結核病棟、一般病棟		
7 F	一般病棟、無菌室、開放病床		
6 F	一般病棟		
5 F	一般病棟 (小児科)、周産期センター外来、NICU・GCU、分娩、一般病棟 (産科)		
4 F	透析、臨床工学部門・中央材料室、手術、HCU、ICU		
3 F	管理、医局、講堂、外来、リハビリ、化学療法、売店	管理	管理
2 F	栄養管理、薬剤、外来、検体検査、生理検査	管理	外来
1 F	一般病棟 (救急)、救急、ICU、感染外来、エントランス、患者支援センター、内視鏡、放射線診断、カフェ、キッズルーム	放射線治療/核医学	管理



診察室 (2・3階)



外来待合室 (2・3階)



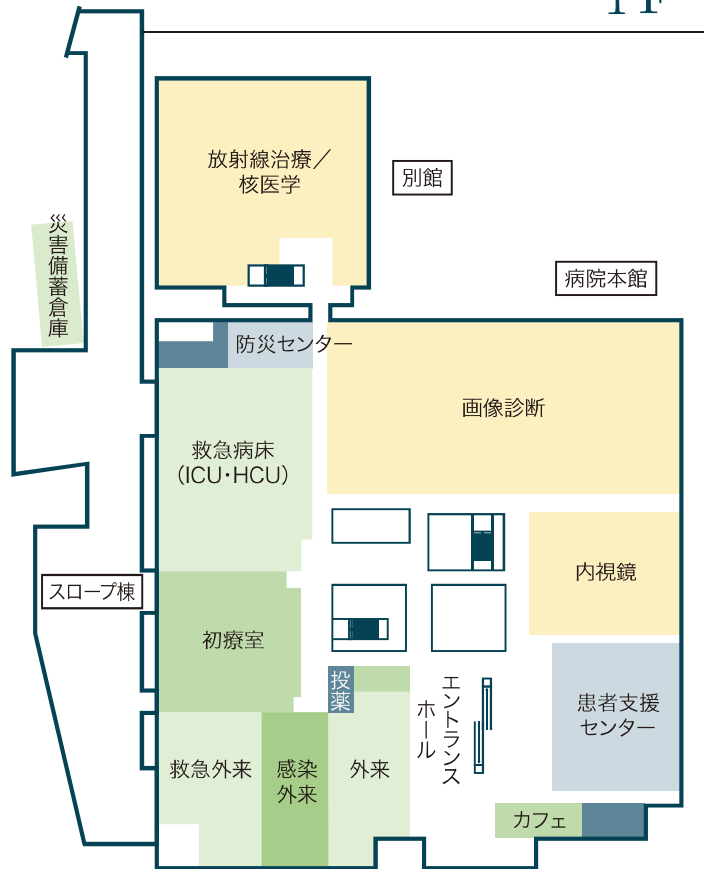
アセンブリーホール (3階 講堂)



東館

本館・別館フロアマップ (1~3階)

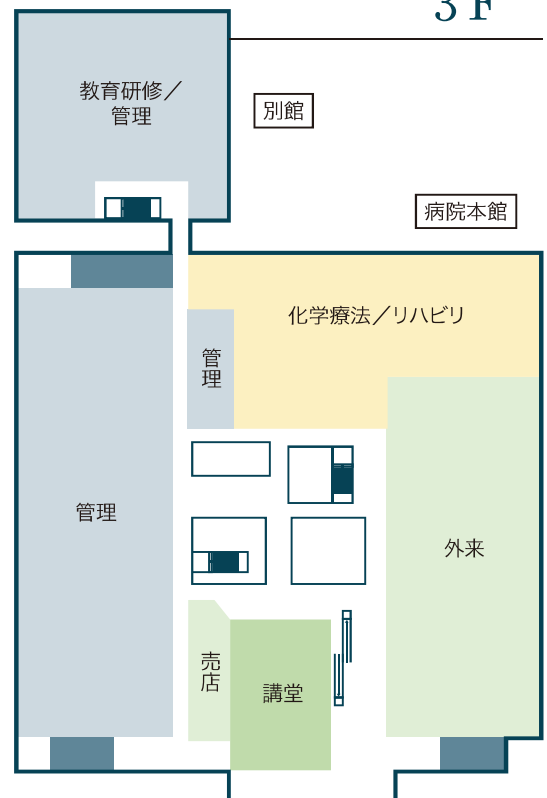
1 F



2 F

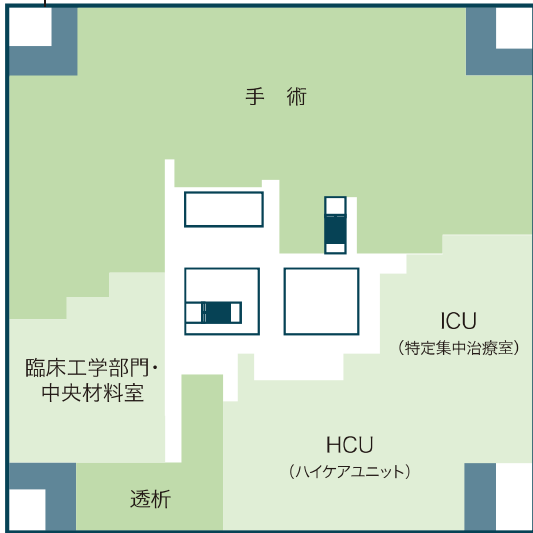


3 F

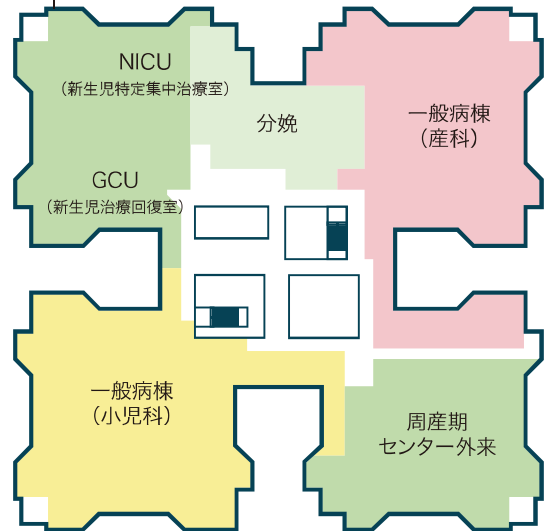


本館・別館フロアマップ (4～9階)

4F



5F



6F 7F 8F

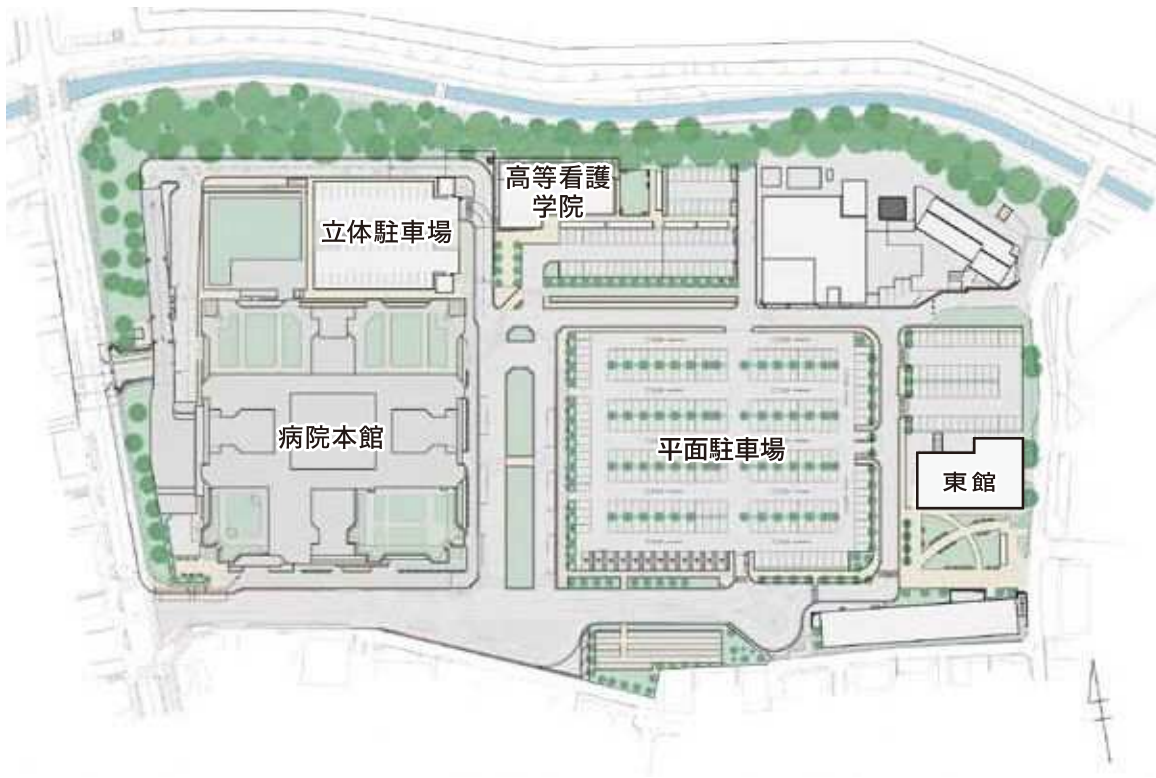


9F



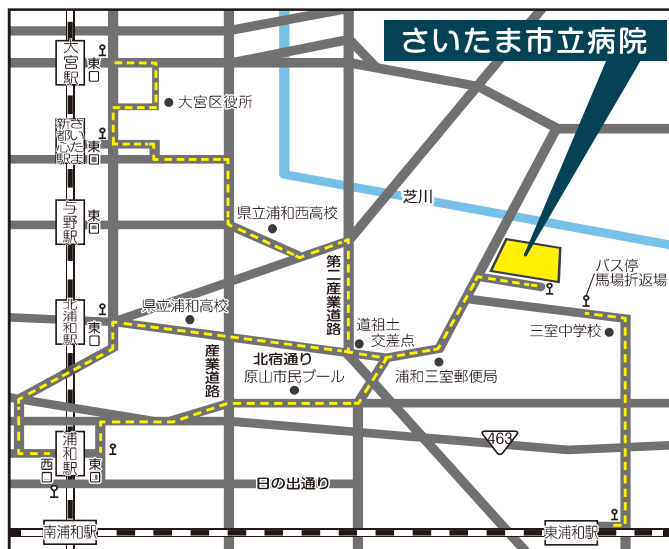
8階 A 病棟：精神科身体合併症病棟
8階 B 病棟：感染症病棟・結核病棟

全体図



ACCESS

アクセス



■バスでのご来院方法

JR北浦和駅

東口 東武バス「さいたま市立病院」行き終点下車(約15分)

JR浦和駅

東口 国際興業バス「南台」行き「市立病院」下車(約20分)

西口 東武バス「さいたま市立病院」行き終点下車(約25分)

JR東浦和駅

国際興業バス「馬場折返場」行き終点下車(約15分)

国際興業バス「市立病院」行き終点下車(約20分)

JRさいたま新都心駅

東口 東武バス「さいたま市立病院」行き終点下車(約30分)

JR大宮駅

東口 東武バス「さいたま市立病院」行き終点下車(約40分)

■車でのご来院方法

第二産業道路/県道1号経由

「道祖土」交差点を東へ 北宿通り 約1.6km

岩槻IC経由

国道122号経由 約11.1km



ホームページ / <https://www.city.saitama.lg.jp/hospital/index.html>